

# 県内経済の動き

## 概況

〔2021年5月～2021年7月の動き〕

### 個人消費に悪化がみられ今後の県内経済に停滞の懸念あり

鉱工業生産指数（5月）は3カ月連続で前年同月比上昇、通関輸出額（6月 細島港）は3カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は2カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（6月）は4カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（7月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（6月）は前月比▲0.01ポイント下落の1.33倍で、7月の企業倒産は前月比3件増の4件、負債額は同5億33百万円増の5億60百万円となった。

7月下旬より新型コロナウイルスの感染が再拡大してきた。夏休みやお盆時期の活動自粛による県内経済への影響を注視したい。